



88号 350円

巻頭詩 花の季節 堀場清子 3

“均等法” 対案に野党 “平等法” 上程 4

女性と高齢者に不利な雇用保険法改「正」 7

家庭科教育に関する検討会議発足 10

国会傍聴記 “均等法” 攻防戦 11

野党提案 男女雇用平等法全文 19

風俗営業取締法改「正」案衆院通過 6

マスコミ投稿先一覧 30

キーセンパーティーは韓国の風俗か 33

6・7禁等法—政党・女性議員に聞く会 34

女のつどい・女の講座 37

各地の〈あごろ〉へどうぞ(カッコ内は  
例会日と会場)

□あごろ旭川(第3土曜・13時30分—16時)

- ・北海道十勝郡東川町西5号南3 小坂啓子
- ・☎ 0166=82=2598 〒071-14

□あごろ札幌(毎月13日喫茶「のあ」)

- ・札幌市西区琴似1条6丁目グランドハイッ琴似  
408号 細田英理子
- ・☎ 011=644=2927 〒063

□あごろ仙台(時間、会場とも流動的)

- ・仙台市高松1-10-65-102 渡辺早苗
- ・☎ 0222=71=0274 〒983

□あごろ柏(時間、会場とも流動的)

- ・千葉県印旛郡白井町大山口1-7-20 桑原ちあ子
- ・☎ 0474=91=4843 〒270-14

□あごろ新宿(時間、会場とも流動的)

- ・新宿区新宿1-9-6 斉藤千代
- ・☎ 03=354=3941(BOC) 〒160

□あごろ武蔵野(第4土曜・19時)

- ・小平市小川町1-763-86 丹羽雅代
- ・☎ 0423=43=6749 〒187

□あごろ京王(第2水曜14時—16時)

- ・調布市仙川町3-12-32 福井浅子
- ・☎ 03=308=7871 〒182

□あごろ湘南(時間、会場ともに流動的)

- ・平塚市公所478 小川まり子
- ・☎ 0463=58=6707 〒564

□あごろ東海(第4木曜・10時—12時半)

- ・愛知県愛知郡東郷町白鳥4-5-1  
押草団地113-305 石川方 加藤登紀子
- ・☎ 05613=9=2308 〒470-01

□あごろ京都(第2日曜・11時—16時)

- ・京都市左京区一乗寺築田町56-1 塚崎美和子
- ・☎ 075=791=4623 〒606

□あごろ大阪(第3日曜・11時30分—15時)

- ・吹田市岸部中1-29-4 藤井里子
- ・☎ 06-387-6574 〒564

□あごろ山口準備中(第1日曜・11時—17時)

- ・下関市長府黒門東町1-15 森川万智子
- ・☎ 0832=46=3181 〒752

□あごろ九州(第2日曜・14時30分、第4土曜  
・18時30分、福岡市立婦人会館)

- ・福岡市中央区笹丘2-4-6 小島サカエ
- ・☎ 092=521=7624 〒810

□あごろ佐世保(第2・4金曜10時30分—  
12時、佐世保市立図書館)

- ・佐世保市瀬戸越町1415-25 内田佳崇
- ・☎ 0956=49=8591 〒857-01

8月25、26日  
北の史都  
小樽で  
新しい発想を

年に一度は「拠点開催」の運営会議、ことしは思いきって夏の北海道に舞台を移します。千歳空港から遠く、風情のある街を、ということで、北の港、小樽に集うことになりました。運営会議は25日午後から26日正午まで(会員傍聴歓迎)。25日午後6時—8時は「与兵衛寿司」で交流会(会費3千円)。宿泊は魚籃館(きょらんかん)一泊1500円。朝食は海猫庵(実費)。26日午後からは小樽見学(運河・倉庫群・啄木・多喜二旧跡等)。ついでに道内観光を希望される方には、道央・道北・道南・道東など、お好みコースのプランを「あごろ札幌」で練ってくださいそうです(名前倒れのところもあるので、本当のおすすめコースを……)。運営会議に参加ご希望の方は、今村雅子さんへご連絡を。〒061-24札幌市西区手稲高丘576-2コーポばやしBの1(☎011-683-9594) 今村雅子  
なお、前夜、8月24日夜は、札幌市内で、斎藤千代・高橋ますみさんを囲んで「女が働くということ——B O Cの実践を通して」を聞く仲間うちの集いをもちます(会場未定)。

## 花の季節

堀場 清子

だれが書いたのか

「安らかに眠って下さい」などと

どうしてねむれよう

剥げおちた皮膚の痛みも去らないのに

命が内から崩れてくる

苦悶がいまも 火となって駆けるのに

また夏がきて

夾竹桃が 咲く

あの日の紅さに 死者たちが目をみひらく

生者たちは目をそむける

紅い花芯のひとつひとつに

死者の目を点火せよ

風にゆれる すべての花のしたに  
わたしたちの怯懦を晒せ

……恥かしくないか わたしたち

犠牲の上に生きのびて

平和をしかと 手に握んだか

長年月を わたしたち

あまりに無力で はなればなれで……

だが まさにいま

生きていて 生命への愛を語る

このささやかな営みが

殺意と憎しみを融かしつくすその日まで

ヒロシマの霊よ

眠るな

# “禁等法”対案に、野党“平等法”上程

政府は7月17日衆院社労委突破構想？

“禁等法”はいよいよ国会に。6月26日衆院本会議「平等は福祉と考える」中曽根発言、

「とにかくスタートを」の坂本発言を受け、

7月3日第1回社会労働委員会が開かれ、社・公・民・共・社民連の激しい追求に

対し、政府側は終始「すっぱかし回答」「平等法として十分なものではない」という赤松

発言、「保護は男女いずれの側に揃えてもよい。要は差別の解消」という外務省発言を得

たにとどまりました（詳細は12・17ページに）。引き続き毎週火曜に衆院社労委が開か

れますが、健保突破に勢いを得た政府は、17日衆院社労委突破を図っているようです。

これに対する野党は足なみの不一致が伝えられていましたが、7月4日、社・公・民・社民

連共同提案の対案を上程、3日の社労委は野党連帯の姿勢が強く示されました。10日には

多賀谷真稔氏が提案理由を説明します。

全文は18ページに掲載しましたが、特徴は

・名称を「男女雇用平等法」とし、労基法改正は除外

・規制対象は「性別による差別的取扱ひ」。

・規制内容は雇用の全ステージ（募集・採用から定年・退職まで）を禁止規定に。

・「差別的取扱ひに関する判断基準（ガイドライン）」は「中央雇用平等審査会」に諮って定める。

・都道府県婦人少年室に「雇用平等監督官（オンブズマン）」を置く。その任務は①指導監督②苦情相談③啓蒙活動とし、立入調査権、勧告及び命令権を持つ。

・労働者は監督機関（婦人少年室長または雇用平等監督官）に申し立てることができる。

・救済機関としては中央・地方に「雇用平等審査会」を設置する。

・審査会は公労使三者構成とするが、判断（裁決）は公益委員で構成する合議体が行なう。

・審査会は監督機関の不作為も審議対象とする。

・審査会は監督機関の不作為も審議対象とする。

る。

・審査会は立入り調査権を持つ。

・労使は監督機関の是正命令または不作為に

対し不服があれば「地方審査会に審査請求ができる。その裁決に不服なら「中央審査会」に再審査請求ができる。

・申し立てを理由とする不利益取扱ひを禁止する。

・不服申し立て期間は初審60日以内、再審30日以内とする。

・申し立てを受けた監督機関及び不服審査機関はできるだけ早く結論を出す。

・適用範囲は船員及び公務員を含む全労働者とする。

・罰則は直罰主義はとらず、①是正命令違反②立入り調査等の拒否③不利益取扱ひ禁止違反などについて罰則を設ける。

など、「禁等法」とは天地の差のある「平等法」になっています。

# 衆参両院社会労働委員部屋番号表

## 〔衆議院〕

\*1……第一議員会館 千代田区永田町2の2の1  
Tel (581) 5111

\*2……第二議員会館 千代田区永田町2の1の2  
Tel (581) 5111

長	有馬	愛知	伊吹	稲垣	稲村	今井	小沢	齊藤	自見	谷垣	友納	中野	長野	丹羽	西山	野呂	浜田	藤本	箕輪	森下	網岡
元治	和男	文明	実男	利幸	辰男	辰男	辰男	辰男	辰男	辰男	武人	祐也	祐也	雄哉	敬次郎	陽彦	卓二郎	孝雄	登	元晴	雄
自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自
1	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	1	1	2	2	2	2	2	1	2	2	2
四〇七	三一〇	六一五	五三八	六二〇	七〇三	五一一	三三三	三三三	二二二	二二二	二二四	三二八	二二一	二二一	五〇九	四一〇	二二六	二二二	六二八	三〇四	五一八

池端	河野	多賀	竹村	永井	村山	森井	渡辺	大橋	沼川	橋本	平石	森本	小淵	塩田	塚田	浦井	田中	菅直人
清一	正	真稔	泰子	孝信	富市	忠良	三郎	敏雄	洋一	文彦	磨作	晃司	正義	晋	延充	洋	美智子	直人
社	社	社	社	社	社	社	社	社	公	公	公	公	公	民	民	共	共	民連
1	1	1	1	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2
七〇五	七〇六	六一二	四二七	七二四	二四〇	二三八	五二五	五二〇	二一八	七二八	三三三	七二七	五二三	二二七	六三六	六三八	四〇一	七三二

## 〔参議院〕

参議院会館 千代田区永田町2の1の1  
Tel (581) 3111

長	石本	遠藤	佐々木	浜本	中野	大浜	金丸	大坪	関口	曾根	田代	田中	村上	森下	永久	本岡	和田	中西	前島	山中	藤井
茂	政夫	満	万三	鉄造	方榮	三郎	三郎	健一郎	恵造	郁夫	紀男	正巳	正邦	泰	八重子	昭次	静夫	珠子	英三郎	郁子	恒男
自	自	自	公	公	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	社	社	社	公	無	共	民
四三九	二三六	三三九	五四二	四二九	七三三	六〇二	五二三	五二三	四一九	七一九	二〇七	七二二	七三一	六二四	三一五	五〇二	四一二	六二〇	二一〇	五三五	二一七

社・公・共案はほとんど一致していましたが、救済機関は民社案をとり入れたもの。ともかくも対案が上程されたことは大きな喜びです。全野党共闘とならなかったのは残念ですが、「対案が出されれば一番痛手だが、野党の足なみが揃うことはあるまい」という政府側の「読み」を破った陰には、さまざまな

苦勞があったよう。女性解放運動側としてはこの対案を支持し、一人一人が全女性議員に、そして地元の国会議員に働きかけ、絶対に「禁等法」は通さないよう、死力をつくしたいと思います。なお7月16日には札幌と福岡で公聴会があります。

衆参両院女性議員名簿は86号に、また衆参

両院社労委名簿は87号にあります。それぞれの真情をこめたハガキを送り続けましょう。悔いを千載に残さないために！

### ●一人でも多く傍聴を！

社労委は衆議院は毎週火曜、参議院は木曜に開かれます。傍聴券申込みは各議員またはジョッキ(03||3557||9565)に。

## 警察国家を目指し、トルコ風呂を公認？

### 「風俗営業等取締法改悪」衆院を通過

「はんらんするセックス産業を規制する」という美名のもとに、風俗営業等取締法「改正」案が上程され、7月5日、衆議院地方行政委員会を通過しました。

アダルトショップ、のぞき部屋など、日本は今や世界でも名高いボルノ天国、規制が必要なのは当然ですが、それに名を借りて、さまたまな//便乗//も。

現在八か条の「風俗営業等取締法」は五十一条の「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律」に様変わり、目的に「善良の風俗と清浄な風俗環境を保持し、及び少年の健全な育成に障害を及ぼす行為を防止するため」が加わりました。

しかし「少年の健全育成」の名のもとに、公安委員会が委嘱する少年指導委員が新設され、補導を強化するとともに、各都道府県に一つずつ風俗環境浄化協会が設けられ、少年指導委員の活動を助けることなどが定められたことは重大な問題。「少年法改正」の先取りだと指摘する声も大きいようです。

同様な//公安//発想は、警察の立ち入り権の規定にも見られます。捜査令状なしの捜索、現行犯逮捕もできるわけで、戦前の//臨検制度//復活の危険性がささやかれています。

規制の対象は拡大され、ゲームセンター、トルコ風呂、のぞき劇場、アダルトショップ、ラブホテルまで含められ、許可基準、管理基準が厳しくなったのは望ましいことではあり

### 風俗営業等取締法改正についての声明

私たち売春問題とりくむ会は、風俗営業等取締法に対してかねてから関心をもっていました。その改正の動きが報道されたのを機会に要望行動をとり、担当者から説明を聞き、今回、国会に提出された法案を読み、さきの懸念を一層深くいたします。

一、個室付浴場業（トルコぶろ）を、私たちは現代の公娼制度として非難し、その追放を願ってききましたが、今回の改正案ではかえって固定化につながることと恐れています。風俗関連営業として位置づけ、警察職員の立入り検査等を認めることに絶対に反対いたします。公娼制度をとり臨検を行った戦前の政策と軌を一にするものであり、女性の人権確立の大きな柱である売春防止法の精神にもそむ

ますが、事実上の管理売春であるトルコ風呂を、結果的には公認することになりそうです。売春問題とりくむ会や野党から、かねて猛反対があり、陳情書も出ていたのに、審議の場では女性がほとんど関知できないまま立法化されることになりそうなのは、残念というはかありません。売春防止法、児童福祉法、職業安定法、刑法を活用すれば、新しい法律をつくる必要はない、というのが法律専門家の声ですし、問題の風俗営業は許可しないのが抜本的解決策。まさかトルコ風呂業者から献金が出ているのではないでしょうね。

女性と高齢者に不利に

## 雇用保険法「改正」

政治倫理、健保、臨教審などで大荒れの国会、衆目がそちらに集中している間隙を縫って、いくつかの重要法案が「火事泥」式に成立したり成立しようとしています。

風俗営業取締法に先立って成立した雇用保険法改正もその一つ。//高齢化社会と産業構造の転換に対応する//がスローガンですが、実際には5000億もの積立金があるのに、昨年からそれが目減りを始めた対策として、高齢者と女子をねらいうちした、というのがホンネのようです。

主な改正点は、①従来支給額算定基準に含まれていた賞与を算定基準からはすす。②従来賞与に対しては失業保険料を徴収していなかったが、徴収する。③従来、主として年齢で定められていた給付率を被保険者であった期間も勘案したものとす(表一) (ただし特定不況業種、不況地域、倒産による離職者は従来どおり)。④65歳以上の高齢者には失業手当を支給しない。代わりに「高齢者給付

く措置といわねばなりません。

風俗環境浄化協会等の措置にも反対します。公安委員会公認の業界組織は、浄化を願つての方向よりも、かえつて業界そのものの権威づけに役立ち、社会的容認認度を高める結果になりましょう。

一、少年の健全育成を真に目指すのならば、風俗環境を悪化する業態は、国家として否定すべきであります。少年指導委員を新設することで解決するものではなく、かえって少年を法律で摘発するおそれがあります。

私たちは、性が売買の対象になることを強く否定し、特に国家が売買春を公的に認めてはならないことを主張するものであります。今回の法改正が、私たちの望む方向と全く逆の結果をうみ出すことをおそれ、反対を表明する次第であります。

一九八四年六月十四日

売春問頭ととりくむ会

あけぼの会	東京キリスト教女子青年会
救世軍	東京婦人相談研究会
新日本婦人の会	日本看護協会
全国地域婦人団体連絡協議会	日本キリスト教婦人矯風会
全国婦人相談員連絡協議会	日本婦人会議
全国婦人保護施設連絡協議会	日本婦人団体連合会
ゼンセン同盟	日本婦人有権者同盟
全日本労働総同盟青婦対策部	日本民主婦人の会
総評婦人対策部	婦人民主クラブ

表 1

年齢	被保険者であつた期間 1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上
30歳未満	90日 ( 90日)	90日 ( 90日)	180日 ( 90日)
30歳以上45歳未満	90日 (180日)	180日 (180日)	210日 (180日)
45歳以上55歳未満	180日 (240日)	210日 (240日)	240日 (240日)
55歳以上65歳未満	210日 (300日)	240日 (300日)	300日 (300日)
就職困難者	55歳未満	240日 (現行どおり)	
	55歳以上 65歳未満	300日 (現行どおり)	

注1 ( )内は現行。

注2 被保険者であつた期間が1年未満の場合は現行どおり90日。

表 2

被保険者であつた期間	1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上
給付金の額	50日分	100日分	120日分	150日分

表 3

所定給付日数	支給残日数	再就職手当の額
90日	45日以上	30日分
180日	120日以上	80日分
	90日以上	50日分
210日	140日以上	85日分
	105日以上	50日分
240日	160日以上	90日分
	120日以上	50日分
300日	200日以上	120日分
	150日以上	70日分

// 福祉切り捨てによる行革の逐進と思われる  
ます。

差を是正するというもの。従来、賞与に対しては徴収せず、算定基準に加えていたのが片手落ちだったのに、その責任は負わず、財政難になったからといって、突然、賞与からは取り立てる、算定基準からははずす、というのでは、あまりにも都合主義です。

③は、長期就労者が感じていた不満を解消すると称していますが、表1のように、長期就労者は従来どおりとし、10年未満就労者を減額するという、労働者にはきびしい改訂です。65歳以上を対象にした④⑤⑥とともに、明白な

月、職業指導拒否Ⅱ2週間)、納付命令制度(不正受給は全額を返還させ、さらにそれと同額を納付させる)が機能するよう、運用基準を見直す。⑨受給期間中に就職した者には再就職手当(表3)を支給する。⑩最低給付額を2140円から3210円に引き上げるなどです。

金」(表2)を支給する。⑤65歳以上の新規就業者は原則として加入できない。⑥従来60歳以上は免除されていた保険料を、65歳以上免除に引き上げる。⑦自己都合により離職の場合申請してから給付されるまでの期間が1-2か月だったのが、1-3か月に延長される。⑧従来有効に機能していなかった給付制限制度(就職拒否Ⅱ1か月、訓練受講拒否Ⅱ1か月

①②は、企業間格差と、受給時期による格

「妊娠・出産で辞め、再就職する意志がない



のに受給する」とも言われますが、辞めたくて辞めるわけでもなく、再就職したくても職場が得られないのが現状です。

「転職が多すぎる」とも言われますが、働き続けても昇進・昇格のない職場、若い男にどんどん追い越され、万年お茶くみに希望を失って、「ほかの職場なら違うかも……」と、はかない夢を託しての転職も多いのではないのでしょうか。その間、「今まで低賃金で働きされてきたのだから、せめて失業手当でしばらく息をつこう」と思うのは、人間としてむしろ当然の心情でしょう。

そもそも、「最近になって女子の失業率が急に高くなった」と言いますが、これは二十年前も前から予測されていたことです。実質的には潜在的な失業者である主婦の就労が進めば進むほど、その失業率もまた顕在化するのには当然のことでしょう。ME化も女子を直撃しています。労働省でも経企庁でも当然把握していたはずで、一種の失政ではないでしようか。減反を強制された農民が韓国米の輸入に怒るように、失政の結果を労働者に負わせようとする安易な対応策に、私たちはもっと怒ってもいいのではないかと思います。

だいたい雇用保険とは、「保険」なのか「保

障」なのか……。戦後創設された「失業保険」の「社会保障的性格」が、次第に利潤追求論理の中にかからめとられていつて……。考えなければならぬことがここにもあったことに遅まきながら気がつきます。

それにしても、国会のどさくさまぎれに、一つ、また一つと、私たちにとって大切な法案が、新聞などにもあまり報道されることなく成立していく。……怖いですね。

また上がつた!

### 厚生年金、女子の保険料

毎年保険料率が上がっている女子の厚生年金、こしも1000分の92から1000分の93(基金加入者は1000分の63から64)に変わりました。//男女平等//のための補正ということですが、//妻//を持つ加入者に著しく有利な厚生年金、それがさらに有利に変えられようとしているいま、釈然としません。

### 鈴鹿市役所山本和子さんの

#### “東京守る会” 結成

山本さんの裁判はすでに12年。80年一審勝

訴、83年二審逆転敗訴、そしていま最高裁。勤続36年、年金を含めた生涯賃金の格差が公務員でも2300万円。//禁等法//でかまびすしい折、山本判決のゆくえは重大です。あなたも署名集めと傍聴を! 連絡先は練馬区東大泉6-31-38矢口方「鈴鹿市山本さんを守る会(東京)」92400679

### 良心的軍事費裁判

#### 証人4名を却下

「自分が納めている税金が軍事費に使われるのは許せない」と、軍事費相当分の税金を自立的にカットして裁判闘争を行なっている、いわゆる「軍事費拒否裁判」の第15回公判は5月28日に開かれましたが、原告が申請していた証人4名が却下されました。ただし各証人の意見書を提出するなら読む用意はあるとのこと、証人予定者の高柳信一氏らが鑑定書を提出することになりましたが、証人が却下されたことは裁判の方向性を示すものとして危機感を深めています。

#### 一万人の大集会を目指す

#### 日本女性会議 '84 なこや

昨年の女性会議成功に力を得た名古屋市は

ことしも7月21―22日、自立・平等・平和をもとめて、九つの分科会と文化フェスティバル、野外フェスティバル、そして全体集会を開きます。△あごら東海Vは、草の根の国際交流の分科会と△ミニコミ展Vを担当の予定。市では、4500―6500円のホテル予約も受付中。市から巨額の予算をかちとつたことを評価する人、運動の墮落と非難する人、賛否両論入り乱れているようですが、くわしいスケジュールを知りたい方は、名古屋市婦人問題担当室(052-961-1111内線3134)へ。なお、ミニコミ展出展資料は32ページ左端の加藤登紀子さんまでお送りください。

## 家庭科教育に関する

### 検討会議発足

委員16名中女性は7名

差別撤廃条約批准に向けて、さしもの文部省も重い腰を上げ、公約どおり「家庭科教育に関する検討会議」を6月18日発足させました。先号既報の「48団体から委員を」の申し入れは実りませんでした。が、江田要請を入れたのか、委員の半数に近い7名を女性としま

した。委員名は次のとおりです。

麻生 誠 大阪大学教授

伊藤 央子 筑波大学附属坂戸高校教員

小笠原ゆ里 大妻女子大学教授

久保田キヌ 東北学院大学教授

斎藤 弘 国立教育研究所第四研究部長

鈴木テル子 都立教育研究所主任指導主事

鈴木 寿夫 横浜国立大学教授

千石 保 日本青少年研究所所長

西山 靖子 長野県教育委員会指導主事

縫田 暉子 日本放送協会解説委員

早川 克己 日本経済新聞編集局婦人家庭部長

藤井 敏子 愛知県東浦高等学校校長

二木 武 都立母子保健委員長

古松 章 都立三田高校校長

間宮 武 共立女子大学教授

湯沢 雍彦 お茶の水女子大学教授

怒るのは当たり前でしょう！

講談社の差別ポスターに

△行動の会V抗議

濡れたスケスケの衣裳をまとった女性のバスのアップ。その乳首をハシでつまんで「チチも愛読。ハシからハシまで」——いく

らコミック雑誌『モーニング』とはいえ、朝の車内でこれを見たら、朝の気分はめっちゃくちやになるでしょう。△行動の会Vでは講談社にさっそく抗議。「制作段階では全く気づかなかった」という「チカン度」に、一同晒然。「これが出来た時、どう感じましたか」

「ただ、美しい、とだけ……」

「禁等法」が堂々とつくられるわけですね。

『あごらさせほ』創刊号ができました

歩幅は小さく、でも大地を踏みしめて歩き続けている△あごらさせほV。念願の通信第1号が出ました。57年5月以来の活動経過、いま勉強中の昭和史、女のグループ紹介など、B5、4ページながらコクのある内容です。ゆっくり、ながーく続けてネ！

婦人民生クラブ総会流会

6月23日の第38回総会は、かねて憂慮されていた内部対立がついに表面化、流会のやむなきに至ったようです。同じ女のグループとして憂慮に耐えませんが、もはや覆水盆に返すのは無理かもしれません。が、歴史と伝統に立つ△婦民Vが最善を尽くして収拾されることを心から祈ります。

見ました！

## 禁等法”攻防戦

## 私と「禁等法」

6月26日 衆議院本会議

雇用面での男女差別の解消を目指す、とは名ばかりの「禁等法」上程の趣旨説明が、6月26日、1時より、衆議院本会議で行なわれた。

小雨の中を地下鉄で衆院に。子どもの頃、そろそろと見学に来たぐらいで、その後は国会傍聴など、ついぞ出かけて来なかったから、ずいぶん変わっているのだろう、まったく記憶にないのだから——、などと思いつながらロビーで待っていると、「持ち物は一切持たせ入れないから、ロッカーへ入れることになりました。ポケットによけいな物を入れていないと、ボディチェックに手間取って、審議のほうを聞きそびれるから」と、仲間の先輩からの細かい注意。荷物をまとめる。「私も傍聴ははじめてなの」——でも来ないではいられないかった——と言いたそうな、いくぶん緊張

した面持ちの人たちのヒソヒソ話を片方で聞きながら、自分の今までの生き方に、ふと思いをめぐらしていた。

自分自身の皮膚で感じとったものを大切に、わたしはのベースで、わたしの歩幅で進んでゆきたい。その方向は、わたし自身が納得できればよいことなのだから——。誰にも規制されたくない、「人は人、私は私」私の人生の選択権は私自身にあるのだから。人並みに（大多数の人という意）家庭を持ち、子どもを持ち、それでも働くことをやめたくなくて、（つまり、自分のために生きてたくて）その時々に行けることを、何とか続けては来た。病いに倒れた年寄りをかかえて、幼い子を育てながら、それでも仕事を辞めたくなくて、必死に過ごした日々もあったけれど——。

少しずつ少しずつ、手を伸ばし、足を出して、自分の領域を広げながら暮らしてきて、今までよりも、もっともつと子どものためではなく、夫のためでなく、自分のために暮らせ

る状況になってきているのに……。気づいてみると、女の人生の選択の幅の何と狭いこと。今さら、騒ぎ立てるまでもないこと。だから、他人に対しても、物ごとについても、希望は持たせられ、見返りを期待したりはとうになくなっている。まして国だの政治だのはなおのこと、私の中では「う」なのである。だから国連の婦人差別撤廃条約批准のためと称するこの禁等法が、かからなければ、たぶん、国会を傍聴する機会は来なかった、と思う。

ともかく、審議開会時間にならなければ、傍聴席へは入れてくれない。短時間にすぎよく（従順に規則を破らず）ボディチェックを受けて、監督者に目をつけられずにすんなり入るには、ポケットをカラにし、両手の上にチリガミ、ハンカチ、財布をのせ、にこやかに身体検査を受ける。メモ用紙は一人二枚用意されている物に限り使用してよく、鉛筆も備えられた物のみ可。

法案の趣旨説明は、静かに過ぎ、社会党・土井たか子氏、公明党・中村巖氏、民社党・塚田延充氏、共産党・藤田スミ氏の質問がある。詳細はここでは省くが、首相の「均等な機会・待遇の確保は、女子労働者の福祉と理

解している。勤労婦人福祉法の抜本的な大改正で対応したのは適切だ……」は歴史に残る答弁として、記憶したい。また、新聞などには載らなかったけれど、坂本労相の「……男性主導で日本はここまで発展してきました。……」女性の気持ちも考慮してあげましょう、とでも言いたげな捨てぜりふもまたいつまでも覚えていたいと思います。

そして腹の立つたこと（頭にきたこと）をいくつかぶちまけます。

その1 議員のヤジのひどさ。やっとの思いで時間をやりくりし、雨の中を昼食も食べずに駆けつけて来ているというのに。質問が佳境に入ると、まるでその質問者の言葉を消そうとするかのように、ヤクザまがいのダミ声でヤジリまくる。あまりのひどさに、名前を確かめようと、じっと目をこらして名札を見るけれど、遠くではっきり読み取れない。松田〇郎。〇の中が不明。帰って年鑑で調べてみると、〇の中はどうやら「九」であるらしかった。もう一人、目立ってうるさかった人は、議長席に向かって前から四列目、左から四番目の人。次回には座席表でしっかり調べると。もちろん、野党の代表質問への無礼

なヤジは自民党の方々。国会の傍聴は、私たちの当然の権利なのだから、もう少し静かに全部を聞かせてほしいと思った。

その2 この党の代表質問であれ、良い指摘、共感するところは、野党が一致して応援してほしいのに、各党の質問、意見には、それぞれの党の議員のみが拍手を送る、という不可解さ。

その3 傍聴席を監視していらっしゃった方々にひとこと。労働者であり、主権を有する国民の一人であるという点で、私たちと同じ立場であるはずなのに、途中で疲れて、はおづえをついたり、少し目をつぶったりしていると、「そんなことなら、向こうへ行って休んで下さい」とこわい顔。「それだったら、下でいねむりしている議員さんにも言ってくれ」と叫びたかったけれど、審議のゆくえが見たいたのでひたすらがまんをしたのです。

この法案の審議のゆくえを見守りながら、男と女が平等であるということは、どういうことなのか、子持ち、男持ち、40歳の女の私が、私自身を、共に生きるということの意味を、改めて考えるつもりなのです。

（今村温子）

ぐったり疲れ、いらだち、  
考え込み……

7月3日 衆議院社会労働委員会

「均等な機会と待遇の確保は、女子労働者の福祉と理解している」——問題の中曽根発言を受けて、いよいよ社労委での実質審議が始まる。この歴史的な審議を我が目、我が耳で確かめなくては……。開会に先立つ三十分前、議員面会所にはすでに数十人の女たちが集まっていた。長年女の問題に関わってきた旧知も多い。傍聴席を女で埋めて無言の圧力を、との思いである。一分でも早く議場に入りたい。が、開会予定の十時を過ぎても傍聴券は配られなかった。傍聴受付が十時からという。次第に焦燥の色が濃くなる。

券が配られ、//傍聴人入口//にたどりついたのは、もう十時半近かった。しかし、行列はここでまたストップ。前方に「検問所」があつて、五人ずつ「検査」を受けているという。長蛇の列はほとんど動かない。

つれづれなままに、傍聴券の裏の「傍聴人心得」を読んでみる。

一、本券を所持する者は、表記委員会の傍聴

席に入ることができる。但し取締の必要上傍聴人の員数を制限したとき、又は傍聴席に余裕がないときは、傍聴券を所持する者でも入場できないことがある。

二、傍聴人は、傍聴券にその住所、氏名及び年令を記入する。

三、傍聴券所持者は、傍聴人受付において、衛視又は警察官の身体検査を受け、傍聴券に衛視の検印を受ける。

四、傍聴人は傍聴席以外の場所に入ることができない。

五、銃器その他危険なものを持っている者、酒気を帯びている者その他取締上必要があると認める者は、傍聴席に入ることができない。

六、傍聴人が傍聴席にあるときは、左の事項を守らなければならない。

1、異様な服装をしないこと。

2、帽子、外とう、かさ、つえ、かばん、包物等を着用又は携帯しないこと。

3、飲食又は喫煙しないこと。

4、委員会の言論に対して賛否を表明し、又は拍手をしないこと。

5、静粛を旨とし議事の妨害になるような行為をしないこと。

6、他人に迷惑をかけ、又は不体裁な行為をしないこと。

七、すべて傍聴人は、衛視の指示に従わなければならない。

まさか戦前の規定のままではないだろう。何度も目をこすって読み返す。

周りでもヒソヒソ声。

「これ、異様な服装に見えるかしら」

「かばん、包物はいけないらしいけど、手帳やペンは持つて入れるんでしょうね」

「それもだめなんですよ。時計とメガネとお財布以外は」

「とにかく髪の毛までさわって全身調べの。箱根の関の人見寮よ」

「へーえ、それにしても待たせるわね」

「女の衛視さんは一人だから」

なるほど、その間に男性傍聴者はスーイスイ。「ここで腹立てて帰ると『権利の放棄』にされちゃうんだから……」

ジリジリと待つて待つて。//人身改め//を終えて議場にたどりついたときはもう十一時すぎ。自民党愛知和男氏の質問は終わり、社会党の金子みつさんが、汗をふきふき、「勤労婦人福祉法」にすり変えられた経過を質問しているとところだった。傍聴席はすでに満

席。百人で打ち切られ、「心得」どおり、「傍聴券を所持する者でも入場できない」人も出た。//たまたま男であったがゆえに//優先入場した人に、結果的には席を占められてしまった不正さ。

◆やっと入って立ちんぼう

議場は、金子さんたちの奔走で、いつもより大きな会場に変えてもらったというが、一般傍聴席は十六席だけ。入場前、すでに一時間余も立ち続けて来ただけに、一人また一人としゃがみこむ。すかさず衛視さんが、「別室にお連れします」

せっかくの金子さんの熱弁も頭の上を素通りしていく。立ちんぼの傍聴者たち、次々に靴を脱ぎ捨て、ひたすら「おしん」。聞かせていただく「屈辱にあえて耐えるのは、ただただ法案のゆくえを見守りたい一心。

階上の熱い視線を浴びて、金子さんは野党第一党の責任を負いながら、「なぜ福祉法にすり変わったのか」と、基本的理念を繰り返し追求するが、「目指すべき方向ははっきりさせた」と、ぬらりくらり、答にならない答が返るだけ。

午後一時再開後は、七条以降の細部に関する質問。とくに労基法関連では、怒りをこめ

て、切れ味鋭くなる。

「残業・深夜業規制撤廃は、労基法八条の適用除外で十分ではないか」「本人の申し出があれば認めるというのは恐ろしい」

「本人が希望しているのに認めないのは民主主義に反する」(労働基準監督課長)

すかさず、「アホノ、食えないから残業するんじゃないか」の野次。衛視、発言者の方向にツカツカ。

金子さん、「当方の質問に対する回答になっていない。なぜ適用除外にできないのか」課長「他の運輸機関すべてに波及する」。労相「陳情にほだされた」——思わずドッと笑い

声。衛視「意見表明は許されませんッ」(それにしても知らなかったなァ、労相がそんなに情にほだされるお方だったとは……。あの雨の中のハンスストには涙されなかったのだろうか)

金子さん、言うことなし、といった表情で長い質問を終わる。

◆女性も働いてきた実績がない、

と坂本さん

野党側質問二番手、公明党の沼川洋一さんは、先月、『あごろ』を注文して来られた方。冒頭、「〃禁等法〃などと呼ばれてたいへん

評判が悪い」と、『あごろ』仕込み(?)の質問。

「こちら側で評判の悪いものは〃あちら側〃では評判がいいもの」と労相はにんまり。

「審議会段階までは〃平等法〃だったのに、突然〃平等〃が消えたのはなぜか。労基法改悪をなぜセットにしたか」赤松局長「たしかに新聞ではそうなってるが私どもが正式に〃平等法〃と言ったことは一度もない。均等も平等も同じ意味。労働法関係では均等と言っている。セットにしたのは、日本の現状では均等・平等促進のためには家庭生活との調和が重要だから」

(ウム、ここで、「それならなぜ家庭生活を破壊する残業、深夜業規則解除を?」と一本打ち込んで!)と手に汗握るが、敵失は残念ながら見のがされて次に。

「労相は、そこに山がある。とにかくみんなで登ろうと本会議で言われたが、これはけわしい山。いい加減なスタートでは困る」

「山を見て道を探す人も、道を探して山に至る人もいる。スタートしないかぎりたどりつけない」

「労働の機会均等は生存権、福祉権ではないはず」

「福祉には広義な福祉もある。ここでうたっているのは〃労働福祉〃。公明党提案の平等法には敬服しているし、公明党案に比べればスッカリしないが、強行規定より努力義務のほうが日本の現状にじむ」(赤松)。

「裁判でたたかいくくなる」

「努力義務でも公序良俗の一般論を排除するものではない。民法九〇条には影響しない」(赤松)

「審議会の一部に強行論はあったが、大半は現状では無理という指摘だった。女性が働いて来た実績がない。日本の企業も悪いだけではない」(野次騒然)

(〃大半は無理と指摘〃とは何が根拠か。女性の実績がないとは!ここでボディをねらえ!それアッパー!)と、はるか階上から無言の声援を送るが、残念!沼川氏はジャブに終わる。

◆キリキリ舞いをスルリとかわされる

沼川さんはそれでも懸命の闘い、「廃案」を主張したが、民社の塚田延充さんは、母性保護の立ちおくれを指摘して、「この法案で改善した」と、軽くいなされる。「苦情処理機関を必ず設置して」と追いますが、機関というほど大げさなものは不要」「せめて

調査権を」「行政指導なので強い権限を与え  
ると均衡を損なう」「全国一六八名の婦人少  
年室員では不十分」「最終的には裁判で争う  
ことになる。簡単迅速な苦情処理のための行  
政サービスを提供するのが目的」等々、次々  
と赤松局長に手玉にとられて、必殺パンチは  
ついに不発。

議席から男性議員顔まけの野次を連発して  
いた共産党・革新共同の田中美智子さんがマ  
イクの前によりやく立ったのは四時すぎ。開  
口一番、「この議席は何ですか」指さす彼方  
の自民党席はガラガラ、わずか四名。「この  
熱意のなさ！」ハッタと場内をにらみつけ  
て、「女子労働者の不満の第二位は『残業が  
多く休日が少ないこと』」「勤労婦人の死・  
流産は専業主婦の二、三倍」など、細かいデ  
ータを並べ立てると、「調査はいろいろな要  
素が集まって結果が出るもの。別の要素が入  
れば別の数字も」（赤松）、「そういう悪い  
状況を変えようとしているのがこの法案」  
（労相）など、スリリとかわされる。  
「何一つ胸を張って答えない。財界からの圧  
力があつたのでは」「赤松さん、ケツをまく  
ったらどうです。辞表を叩きつけたら（田中）  
「辞める必要はありません」（赤松）

「赤松君はベストを尽くした。責任はすべて  
私にある」——情の坂本さん」の笑顔に、  
振りあげたこぶしは、むなしく空を切る。傍  
聴席からは、思わずすすり泣きも。

◆外務省の「言質」をかちとった江田さん  
最終質問者、江田五月さん（社民連）は、  
「小会派なので持ち時間が少ないから」と、  
静かな口調で重点質問。

「赤松さんも、本当はこの法案の欠点がわか  
っているはず」と、しんみり迫ると、  
「シンとします。私が辞めればいいものが出  
来るとは思いませんでした」

「法案は十分と思いませんか」

「百点とは思ってません。現実と遊離したの  
ではワークしないと思った。今後とも見直し  
が必要」

「差別撤廃条約が目指すものと同じか」

「目指すところは同じと思うが、一挙に実現  
はできない」

「二条に、女子労働者を、『経済社会の発展  
に寄与し、家庭の一員として次代を担う者』  
と規定しているが、男子も同じこと。また、  
『性別により差別されることなくその能力を  
有効に發揮して充実した職業生活を営むこと  
ができる』ことも、男子にも望まれる。あえ

て女子労働者にのみ求め、かつ『配慮する』  
とは何事か」

「前段では家庭生活を含めた女子の役割を、  
後段では『配慮』を規定した。こうしないと  
法律として『座りが悪く』なる」

ついに馬脚を表わし始めた赤松さんに、江  
田さんも「気の毒になりますね」と苦笑。

ついで、幹先は外務省に。

「労基法の手直しは、男子の規制という形では行なえないのか」

「条約の目的は差別の撤廃にある。男女差別  
の解消は、どの方法でも行なえる」

「男も家庭責任を果たすためには、深夜・残  
業規制を女子と同じくすることが望ましい」

「外務省としては、どの方法で差別を解消し  
てもよい。どの手段で実現するかは労働政策  
の問題」（以上、遠藤審議官）

「家庭責任を共有するのか、働け働けか」  
ここで赤松さんも、「労働者の福祉向上を目  
的にしている。男女の平等がより高い水準で  
果たされることが望ましい」と、初めて婦人  
局長らしい答弁。ヤッター！と思わず机を  
叩いたら、衛視さんに肩を叩かれました。

◆傍聴して感じたこと  
1 まず、「なるべく傍聴するな」と言わん

ばかりのシステムに驚嘆。裁判の傍聴でもあんなひどいことはしない。危険物をどうしてもチェックしなければならぬのなら、空港にあるような感知器を用意してほしい。女性監視をふやしてほしい。

2 「できるかぎり知らせるな」システムにも驚嘆。せめて筆記具の携帯は認めるのが当然。備え付け用具しか使えないのなら、最低、鉛筆三本、紙は十枚は必要（鉛筆一本、B5大ワラ半紙2枚、つまりワラ半紙一枚分しか貸与しない）。

3 情報公開の意志が感じられない。傍聴席をもっと広くすること。傍聴券は前日に配布し、検問所は開会一時間前には開き、会議の冒頭から聴けるようにすること。最低、議員会館、官報発売所等には有線放送で議場の状況を映すこと。そうすれば、田中美智子さんに指摘された自民党席の空白、会議中新聞を拡げ、質問者に耳も貸さぬ状況など、百聞にまさる一見の効果が表われ、会期延長による税金のムダ使いも自然に解消する。

また、速記だけでなく、ビデオ録画も必要。ビデオやテープレコーダーのなかった時代のままの記録方式は、ニューメディア

を推進する政府の方針にも反するのでは？ビデオ録画すれば、乱闘も起こるまい。

4 傍聴者用に弁当販売など考慮してほしい。食堂に行くためにはまたも「箱根の関」。往復に二、三十分空費する。食堂の席、店員も不足で、これも長蛇の列。要するに傍聴者に対する配慮が全くない。

5 関連審議会の委員には、特別席を設けること。婦少審の山野和子さんも立ちんぼだった。「鼻くそみたいなものよ」と自嘲しておられたが、委員が答申のゆくえを見守ってこそ、よい答申もできよう。立ちんぼではひどすぎる。

6 野党各党の対応は、相互に支援しあい、野党共闘のイメージを与えて、よかった。

しかし、おか目八目で言えば、質問はもう少し必殺パンチがほしかった。予定した原稿を読み上げるのではなく、敵失にすかさずつける臨機応変の対応が望まれる。

中西珠子・久保田真苗・土井たか子さんなどもせっかく同席しておられたこと、メモを回すなど、党派を越えて随時アドバイスしてあげると、質問者にも余裕が生まれ、敵失を見のがすことが少なくなるのでは……。

7 いたずらに攻撃的になるよりは、時にはからめ手に回ることが必要、と、江田発言を聞きながら思った。アメリカの裁判のように、やりとりの中で、とにかく「言質」を引き出したほうがトクなようだ。「結果の勝利」「実質的勝利」を目指す高度の配慮が必要。

8 それにしても、もっと女性議員がほしい。それも実力派が。参院比例代表制ゴリ押しの公陰で、中西さんや久保田さんが議員になれたのは、結果的にはよかった。次の選挙には女性議員擁立をもっと真剣に推進したい。

◆最後に赤松さんに一言  
私がこの傍聴で最も期待していたのは赤松さんの答弁でした。田中美智子さん同様、実は私も、「職をなげうって抗議しないのか」と、あなたに進言しに行こうかと思ったことがあります。多くの非難・攻撃の中で、あなたがあえて現職にとどまっているのは、あなたなりの「配慮」だろうと、あえて好意的に考えてきました。駒尺喜美・田辺聖子など、大阪女の土性骨に、私はいつも敬服しています。あなたも大阪女らしい気骨と機智で、表はもめんでも裏は絹というか、政府側答弁ら



しく見えても多くのニュアンスを含めた答弁を、いかに見事にみせてくださるかと、楽しみにしていたのです。

しかし、きょうのあなたの「能吏」ぶりに  
は呆然としました。ことばのレトリックで問題点をすり変え、坂本大臣に対する質問でも進んで挙手して回答、「大臣の答弁を」という再三再四の声にも耳傾けず、忠臣ぶりを発揮されました。傍聴席から「だからエリート女はイヤだ」という声が思わずあがりました。私は、△高級官僚「エリート女」敵△という式の切り方には常日頃疑問を抱いてきましたが、きょうのご答弁を傍聴するかぎり、そんな図式でとらえられてもやむを得ないと、残念な気がしました。

とくに残念だったのは、田中美智子さんが住宅資金との関連で、〃主たる生計を担う者〃の定義を問い、あなたの「一円でも多い収入を得ている側」との回答に、「男は飲酒・ばくちなどで家にお金を入れないことが多いが、その場合でも主たる生計担当者になるのか」と、さらに質問したとき、あっさりと、「女だってマージャン狂いはいます」と答えて満場爆笑、論点がそらされたことです。率直に言って、きょうのあなたのご態度

は、終始不まじめに見えました。婦人問題三十余年のあなたと、非専門家の質問者とは横綱と序の口ほどの差があることは傍聴者にもみえみえでしたが、だといって鼻先であしらうのではなく、その応酬の中で、あなたご自身「不完全」とお認めになった法案が、よりよい方向に正されていくことに力を貸していただきましたかと思っています。

私の本心は本心、立場上はビエロになるほかない、という、あなたの底深い絶望や自嘲もよくわかります。抜群の頭脳の持ち主だけに演技に徹されるお気持ちも、わからないではありません。しかし、婦人局長という立場で、国会答弁ができるのは、六千五百万の日本の女性の中で、あなたただ一人なのです。せめて、論点には論をもって立ち向かってください。あの奇怪至極な禁等は、つつかれれば答弁のしようがない、目くらまし術でいくほかない。答弁の中に示される自己矛盾を質問者が鋭く突いてほしい、と、もしかしてお思いになったのかもしれないが、その日その日、生きることに追われ、平等法を砂漠の水のように求めている女たちの前では、どうか仮装をしないでください。

初代婦人局長の月給は百三十万、ほかにボ

ーナスもあります。私たち零細企業で働く者の十人分の給料です。それに何よりも、私たちはどんなに切歯やく腕しても、あなたのように、直接的に平等法にかかわることはできないのです。あなたは何のために三十余年婦人問題を考えてこられたのですか。それは、誰よりもあなたがご存じだと思います。婦人問題は「研究」だけではなく、「実践」と深く関わっていることも、もちろん重々ご承知でしょう。あえて現職にとどまっていられしやるのには、深い理由と大きなご覚悟がおありでしょう。そのご覚悟を、ハッキリ示してください。あなたはそれができる能力も勇氣も持ちのちのはずです。

たった一つの救いは、江田質問に寄せられたあなたの真情でした。あの部分では、変わりない「赤松良子」を感じました。参議院では久保田さんや中西さんが質問なさるでしょう。それに対しては、まさかきょうのような投げやりで不まじめな回答はなさらないでしょう。六千五百万分の一の特権を持つあなたが、どんな見事な答弁をなさるか、そしてきょうの悪いイメージを、悪い影響を、どんなふうに変えてくださるか、心から期待しています。

(斎藤千代)

# 資料 男女雇用平等法案

一九八四年七月三日野党（社・公・民・社民連）共同提案

## 【提案理由】

雇用における男女の平等取扱いの確保を図るため、使用者等による性別を理由とする差別を禁止するとともに、その差別を迅速かつ適正な手続により是正するため必要な措置を講ずる必要がある。これが、この法律案を提出する理由である。

## 第一章 総則

### （目的）

第一条 この法律は、労働者の募集及び採用、賃金、配置、昇進、定年、退職、解雇その他の労働条件、職業紹介、職業訓練等について、使用者等が労働者に対して性別を理由とする差別をすることを禁止するとともに、その差別を迅速かつ適正な手続により是正するため必要な措置を講ずることにより、雇用における男女の平等取扱いの確保を図ることを目的とする。

### （基本理念）

第二条 およそ性別を理由とする差別は、人間の尊厳と基本的人権を侵すものであり、かつ、経済及び社会の発展を阻害するものであることにかんがみ、すべて女子は、雇用における機会及び待遇について、性別を理由とする差別を受けることがあってはならない。

### （定義）

第三条 この法律において「労働者」又は「使用者」とは、労働基準法（昭和二十二年法律第四十九号）第九条又は第十条に規定する労働者又は使用者をいう。

2 この法律において「労働者委員」、「使用者委員」及び「公益委員」とは、中央雇用平等審査会又は地方雇用平等審査会の委員のうち、それぞれ、労働者、使用者及び公益を代表する委員をいう。

## 第二章 性別を理由とする差別の禁止

（労働条件等についての差別の禁止）

第四条 使用者は、募集若しくは採用又は賃金、配置、昇進、定年、退職、解雇その他の労働条件について、性別を理由とする差別をしてはならない。

(職業紹介等についての差別の禁止)

第五条 公共職業安定所（職業安定法（昭和二十二年法律第四百十一号）の規定により公共職業安定所の業務の一部を分担する学校の長を含む。）及び同法の規定により許可を受け又は届出をして職業紹介事業を行う者並びに地方運輸局長（運輸省設置法（昭和二十四年法律第五百十七号）第三十九条の地方運輸局長をいい、海運監理部長（同法第四十二条の海運監理部長をいう。）を含む。）及び船員職業安定法（昭和二十三年法律第三百十号）の規定により許可を受けて船員職業紹介事業を行う者（第十条第一項において「職業安定機関」という。）は、職業安定法又は船員職業安定法に規定する職業紹介又は職業指導について、性別を理由とする差別をしてはならない。

(職業訓練についての差別の禁止)

第六条 職業訓練法（昭和四十四年法律第六十四号）第八条に規定する職業訓練を行うものは、その行う職業訓練について、性別を理由とする差別をしてはならない。

(準拠すべき基準)

第七条 労働大臣は、中央雇用平等審査会の意見を聴いて、性別を理由とする差別の禁止につき準拠すべき基準を定めるものとする。

第三章 監督等

(監督機関)

第八条 都道府県婦人少年室に雇用平等監督官を置く。

2 都道府県婦人少年室長は、雇用平等監督官をもって充てる。

3 雇用平等監督官について必要な事項は、労働省令で定める。

第九条 都道府県婦人少年室長及び雇用平等監督官は、労働省令で定めるところにより、この法律の施行に関する事務をつかさどる。

(雇用平等監督官の権限)

第十条 雇用平等監督官は、この法律を施行するため必要があるときは、事業場その他の施設に立ち入り、使用者等（使用者、職業安定機関及び第六条に規定する職業訓練を行うものをいう。以下同じ。）、労働者その他の関係者に質問し、又は帳簿、書類その他の物件を検査することができる。

2 前項の場合において、雇用平等監督官は、その身分を示す証明書を携帯し、関係者に提示しなければならない。

3 第一項の規定による立入検査の権限は、犯罪捜査のために認められたものと解釈してはならない。

(労働者の申告)

第十一条 労働者（労働者となろうとする者及び労働者であった者を含む。第四十条第一項並びに第十六条第一項及び第三項において同じ。）は、第四条から第六条までの規定に違反する差別があると考えるときは、その旨を都道府県婦人少年室長又は雇用平等監督官に申告することができる。

2 前項に規定する申告があったときは、都道府県婦人少年室長又は雇用平等監督官は、事件について必要な調査をしなければならない。

(是正勧告)

第十二条 都道府県婦人少年室長は、第四条から第六条までの規定に違反する差別があると認めるときは、使用者等に対し、その差別を是正するため必要な措置を執るべきことを勧告することができる。

(是正命令等)

第十三条 都道府県婦人少年室長は、第四条から第六条までの規定に違反する差別があると認めるときは、使用者等に対し、その差別を是正するため必要な措置を執るべきことを命ずることができる。

2 前項の場合において、使用者等が国又は地方公共団体の機関であるときは、都道府県婦人少年室長は、その機関に対し、同項の処分に替えて、必要な措置を執るべきことを指示するものとする。

(労働者の申請)

第十四条 第四条から第六条までの規定に違反する差別をされたと考える労働者は、都道府県婦人少年室長に対し、労働省令で定めるところにより、適当な措置を執るべきことを申請することができる。

2 前項の申請を受けた都道府県婦人少年室長は、相当の期間内に、適当な措置を執り、又は措置を執らないときはその旨を決定しなければならない。この場合においては、その申請をした者に対し、速やかに、措置を執ったときはその内容を、措置を執らない旨の決定をしたときは理由を示してその旨を、通知しなければならない。

(報告等)

第十五条 都道府県婦人少年室長又は雇用平等監督官は、この法律を施行するため必要があると認めるときは、労働省令で定めるところにより、使用者、労働者その他の関係者に対し、必要な事項を報告させ、又は出頭を命ずることができる。

## 第四章 不服審査

### 第一節 不服申立て

#### (不服申立て)

第十六条 第十三条第一項の規定による処分不服がある使用者等若しくは労働者又は同条第二項の規定による指示若しくは第十四条第二項の規定による決定（行政不服審査法（昭和三十七年法律第六十号）にいう「処分」に含まれるものとする。）に不服がある労働者は、地方雇用平等審査会に対して審査請求をすることができる。

2 第十四条第一項の申請に対する不作為（行政不服審査法第二条第二項に規定する不作為をいう。以下同じ。）についての審査請求についても、前項と同様とする。

3 地方雇用平等審査会の裁決（前項の審査請求の裁決を除く。）に不服がある使用者等又は労働者は、中央雇用平等審査会に対して再審査請求をすることができる。

4 前項の再審査請求は、同項の者が第一項の審査請求をしなかったときにおいても、することができる。

5 第一項及び第二項の審査請求並びに第三項の再審査請求については、行政不服審査法第二十五条及び第二十七条から第三十一条まで（同法第五十六条においてこれらの規定を準用する場合を含む。）の規定を適用しない。

#### (不服申立てと訴訟との関係)

第十七条 第十三条第一項の規定による処分、同条第二項の規定による指示若しくは第十四条第二項の規定による決定（行政事件訴訟法（昭和三十七年法律第三十九号）にいう「処分」に含まれるものとする。）又はこれらについての審査請求の裁決の取消しの訴えは、その処分、指示若しくは決定又は裁決についての再審査請求に対する中央雇用平等審査会の裁決を経た後でなければ、提起することができない。

2 前項の場合における審査請求の裁決の取消しの訴えについては、行政事件訴訟法第八条第二項の規定を準用する。

### 第二節 中央雇用平等審査会

#### (設置等)

第十八条 第十六条第三項の規定による再審査請求の事件を取り扱わせるため、労働大臣の所轄の下に、中央雇用平等審査会（以下「中央審査会」という。）を置く。

2 中央審査会は、第七条に規定する基準について労働大臣に建議することができる。

#### (組織)

第十九条 中央審議会は、労働者委員、使用者委員及び公益委員各四人をもって組織する。

2 労働者委員、使用者委員及び公益委員は、それぞれ男女同数とする。

3 中央審査会に会長を置き、公益委員のうちから委員が選挙する。

4 会長は、会務を総理し、中央審査会を代表する。

5 会長に事故があるときは、あらかじめ公益委員のうちから委員により選挙された者が、その職務を代理する。

6 委員は、非常勤とする。ただし、公益委員は、常勤とすることができる。

(委員の任命)

第二十条 労働者委員は労働組合の推薦に基づいて、使用者委員は使用者団体の推薦に基づいて、公益委員は労働者委員及び使用者委員の意見を聴いて雇用における男女の平等取扱いの推進に関し識見を有する者のうちから両議院の同意を得て、内閣総理大臣が任命する。

2 公益委員の任期が満了し、又は欠員を生じた場合において、国会の閉会又は衆議院の解散のために両議院の同意を得ることができないときは、内閣総理大臣は、前項の規定にかかわらず、労働者委員及び使用者委員の意見を聴いて同項に定める資格を有する者のうちから公益委員を任命することができる。

3 前項の場合においては、任命後最初の国会において両議院の事後の承認を得なければならない。この場合において、両議院の事後の承認が得られないときは、内閣総理大臣は、直ちに、その委員を罷免しなければならない。

(欠格事由)

第二十一条 次の各号の一に該当する者は、委員となることができない。

一 禁治産者又は準禁治産者

二 破産者で復権を得ないもの

三 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又は執行を受けることがなくなるまでの者

(任期等)

第二十二条 委員の任期は、三年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

3 委員の任期が満了したときは、その委員は、後任者が任命されるまで引き続きその職務を行うものとする。

(失職及び罷免)

第二十三条 委員が第二十一条各号の一に該当するに至ったときは、その職を失う。

2 中央審査会により、委員が心身の故障のため職務の執行ができないと認められたとき又は委員に職務上の義務違反その他委員たるに適しない非行があると認められたときは、内閣総理大臣は、その委員を罷免しなければならない。

(服務)

第二十四条 委員は、職務上知ることのできた秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

2 委員は、在任中、国会若しくは地方公共団体の議会の議員又は地方公共団体の長となつてはならない。

3 公益委員は、在任中、政党その他の政治的団体の役員となり、又は積極的に政治運動をしてはならない。

4 常勤の公益委員は、在任中、営利事業を営み、その他金銭上の利益を目的とする業務を行い、又は内閣総理大臣の許可のある場合を除くほか、報酬を得て他の職務に従事してはならない。

(会議)

第二十五条 中央審査会は、会長が召集する。

2 中央審査会は、労働者委員、使用者委員及び会長を含む公益委員各二人以上が出席しなければ、会議を開き、議決をすることができない。

3 中央審査会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

4 中央審査会が第二十三条第二項の規定による認定をするには、前項の規定にかかわらず、本人を除く出席委員の全員の一致がなければならぬ。

5 会長に事故がある場合の第二項の規定の適用については、第十九条第五項の規定により会長の職務を代理する委員は、会長とみなす。

(給与)

第二十六条 委員の給与は、別に法律で定める。

第三節 地方雇用平等審査会

(設置等)

第二十七条 第十六条第一項及び第二項の規定による審査請求の事件を取り扱わせるため、労働大臣の所轄の下に、都道府県ごとに地方雇用平等審査会(以下「地方審査会」という)を置く。

2 地方審査会の名称及び位置は、政令で定める。

(組織)

第二十八条 地方審査会は、労働者委員、使用者委員及び公益委員各四人、六人、八人又は十人のうち政令で定める数のものをもって組織する。

2 労働者委員、使用者委員及び公益委員は、それぞれ男女同数とする。

3 地方審査会に会長を置き、公益委員のうちから委員が選挙する。

4 会長は、会務を総理し、地方審査会を代表する。

5 会長に事故があるときは、あらかじめ公益委員のうちから委員により選挙された者が、その職務を代理する。

6 委員は、非常勤とする。ただし、公益委員は、常勤とすることができる。

#### (委員の任命)

第二十九条 労働者委員は労働組合の推薦に基づいて、使用者委員は使用者団体の推薦に基づいて、公益委員は労働者委員及び使用者委員の意見を聴いて雇用における男女の平等取扱いの推進に関し識見を有する者のうちから、労働大臣が任命する。

#### (中央審査会に関する規定の準用)

第三十条 第二十一条から第二十六条までの規定は、地方審査会及びその委員について準用する。この場合において、第二十三条第一項中「第二十一条各号」とあるのは「第三十条において準用する第二十一条各号」と、同条第二項及び第二十四条第四項中「内閣総理大臣」とあるのは「労働大臣」と、第二十五条第二項中「各二人以上」とあるのは「の定数のそれぞれ二分の一以上の委員」と、同条第四項中「第二十三条第二項」とあるのは「第三十条において準用する第二十三条第二項」と、「前項」とあるのは「第三十条において準用する第二十五条第三項」と、同条第五項中「第二項」とあるのは「第三十条において準用する第二十五条第二項」と、「第十九条第五項」とあるのは「第二十八条第五項」と読み替えるものとする。

#### 第四節 審査請求の手續

##### (管轄地方審査会)

第三十一条 第十六条第一項又は第二項の規定による審査請求は、原処分（第十三条第一項の規定による処分、同条第二項の規定による指示又は第十四条第二項の規定による決定をいう。以下同じ。）又は同条第一項の申請に対する不作為に係る都道府県婦人少年室長の属する都道府県婦人少年室の所在地の都道府県に置かれた地方審査会に対してするものとする。

##### (合議体)

第三十二条 地方審査会による審査請求の事件の処理は、地方審査会が指名する四人以上の公益委員をもって構成する合議体で行う。

2 前項の合議体は、同項の公益委員の半数以上の公益委員が出席しなければ、同項の事件を取り扱うことができない。

第三十三条 前条第一項の合議体を構成する者を審査員とし、うち一人を審査長とする。

2 前条第一項の合議体のうち、会長がその構成に加わるものにあつては、会長が審査長となり、その他のものにあつては、地方審査会の指名



する審査員が審査長となる。

(合議)

第三十四条 第三十二条第一項の合議体の決定その他の判断は、合議によらなければならない。

2 前項の合議は、出席審査員（審査長を含む。）の過半数の意見により決し、可否同数のときは、審査長の決するところによる。

3 第一項の合議は、公開しない。

4 第三十二条第一項の合議体は、第一項の合議に先立って、審理に参与した使用者委員及び労働者委員の出席を求め、その意見を聴かなければならない。ただし、出席がない委員については、この限りでない。

5 第一項の合議は、前項の意見を尊重してしなければならない。

(審査請求の公告)

第三十五条 地方審査会は、審査請求を受理したときは、政令で定めるところにより、審査請求の要旨を公告しなければならない。

(審理の期日及び場所)

第三十六条 地方審査会は、審理の期日及び場所を定め、審査請求人、原処分又は第十四条第一項の申請に対する不作為に係る都道府県婦人少年室長及び参加人（以下これらの者を「当事者」という。）に通知しなければならない。

(代理人及び補佐人)

第三十七条 当事者は、弁護士又は地方審査会の承認を得た者を代理人とすることができる。

2 当事者又は代理人は、地方審査会の承認を得て補佐人とともに出頭することができる。

(審理への参与)

第三十八条 使用者委員及び労働者委員は、審理に参与することができる。

(迅速な処理)

第三十九条 地方審査会は、第十六条第一項又は第二項の規定による審査請求があったときは、遅滞なく審査を開始し、できる限り速やかに事件の処理を図るよう努めなければならない。

(審理の公開)

第四十条 審理は、公開しなければならない。ただし、当事者の申立てがあったときは、公開しないことができる。

(審理の指揮)

第四十一条 審理の指揮は、審査長が行う。

(意見の陳述等)

第四十二条 当事者及びその代理人は、審理の期日に出席して意見を述べることができる。

2 前項の場合には、審査請求人又は参加人は、地方審査会の許可を得て、補佐人とともに出席することができる。  
(審理のための処分等)

第四十三条 地方審査会は、審理を行うため必要な限度において、当事者の申立てにより又は職権で、次の各号に掲げる処分をすることができる。

- 一 当事者又は参考人の出席を求めて審尋し、又はこれらの者から意見若しくは報告を徴すること。
- 二 文書その他の物件の所有者、所持者若しくは保管者に対して当該物件の提出を命じ、又は提出物件を留め置くこと。
- 三 鑑定人に鑑定させること。
- 四 事件に関係のある事業場その他の施設に立ち入り、使用者、労働者その他の関係者に質問し、又は帳簿、書類その他の物件を検査すること。

2 地方審査会は、審査員に、前項第一号又は第四号の処分をさせることができる。

3 第一項第四号又は前項の規定により立入検査をする審査員は、その身分を示す証明書を携帯し、関係者に提示しなければならない。

4 地方審査会は、当事者の申立てにより第一項第四号の処分をしようとするときは、その日時及び場所をその申立てをした者に通知し、これに立ち合う機会を与えないければならない。

5 当事者が、正当な理由がなく、第一項第一号若しくは第二項の規定による処分に違反して出席せず、審尋に対して答弁をせず、報告をせず、若しくは虚偽の陳述若しくは報告をし、第一項第二号の規定による処分に違反して物件を提出せず、又は同項第四号若しくは第二項の規定による検査を拒み、妨げ、若しくは忌避したときは、地方審査会は、その審査請求を棄却し、又はその意見を採用しないことができる。

6 第一項及び第二項の規定による処分は、犯罪捜査のために認められたものと解釈してはならない。

(費用の弁償)

第四十四条 前条第一項第一号若しくは第二項の規定により出席を求められた者又は同条第一項第三号の鑑定人は、政令で定めるところにより、費用の弁償を受けることができる。

(調書)

第四十五条 地方審査会は、審理の期日における経過について、調書を作成しなければならない。

2 当事者は、前項の調書を閲覧することができる。

(不服申立ての制限)

第四十六条 この節の規定に基づいて地方審査会がした処分については、行政不服審査法による不服申立てをすることができない。

(政令への委任)

第四十七条 この節に定めるもののほか、審査請求の手續に關し必要な事項は、政令で定める。

第五節 再審査請求の手續

(審査請求に關する規定の準用)

第四十八条 第三十二条から前条までの規定は、中央審査会が行う再審査請求の手續について準用する。この場合において、第三十二条第一項中「地方審査会が指名する四人以上の公益委員」とあるのは「公益委員の全員」と、第三十六条及び第四十二条第二項中「審査請求人」とあるのは「再審査請求人」と、第四十一条中「審査長」とあるのは「会長」と、第四十三条第二項及び第三項中「審査員」とあるのは「公益委員」と、第四十四条中「前条第一項第一号若しくは第二項」とあるのは「第四十八条において準用する第四十三条第一項第一号若しくは第二項」と、「同条第一項第三号」とあるのは「第四十八条において準用する第四十三条第一項第三号」と読み替えるものとする。

第五章 捕則

(不利益取扱いの禁止)

第四十九条 何人も、第十一条第一項の申告若しくは第十四条第一項の申請をしたこと、同項の申請に対する不作為について行政不服審査法第七条の異議申立てをしたこと、第十六条第一項若しくは第二項の審査請求若しくは同条第三項の再審査請求をしたこと又は地方審査会若しくは中央審査会が行う審査請求若しくは再審査請求に係る審理のために証拠を提出し、若しくは発言をしたことを理由として、解雇その他の不利益な取扱いをされない。

第六章 罰則

第五十条 第二十四条第一項（第三十条において準用する場合を含む。）の規定に違反した者は、一年以下の懲役又は十万円以下の罰金に処する。

第五十一条 次の各号の一に該当する者は、六月以下の懲役又は三十万円以下の罰金に処する。

一 第十三条第一項の規定による命令に違反した者

二 第四十九条の規定に違反して不利益な取扱いをした者

第五十二条 次の各号の一に該当する者は、三十万円以下の罰金に処する。

一 第十条第一項の規定による立入り若しくは検査を拒み、妨げ、若しくは忌避し、又は同項の規定による質問に対して答弁をせず、若しくは虚偽の答弁をした者

二 第十五条の規定による報告をせず、若しくは虚偽の報告をし、又は出頭しなかった者

三 第四十三条第一項第一号又は第二項（第四十八条において準用する場合を含む。）の規定による処分違反して出頭せず、審尋に対して答弁をせず、報告をせず、又は虚偽の陳述若しくは報告をした者

四 第三十三条第一項第二号（第四十八条において準用する場合を含む。）の規定による物件の所有者、所持者又は保管者に対する処分違反して物件を提出しない者

五 第四十三条第一項第三号（第四十八条において準用する場合を含む。）の規定による鑑定に際し虚偽の鑑定をした者

六 第四十三条第一項第四号又は第二項（第四十八条において準用する場合を含む。）の規定による立入り若しくは検査を拒み、妨げ、若しくは忌避し、又はこれらの規定による質問に対して答弁をせず、若しくは虚偽の答弁をした者

第五十三条 法人（法人でない団体で代表者又は管理人の定めのあるものを含む。以下この項において同じ。）の代表者又は法人若しくは人の代理人、使用人その他の従業者が、その法人又は人の業務に関して、第五十一条又は前条（第五号を除く。）の違反行為をしたときは、行為者を罰するほか、その法人又は人に対して各本条の罰金刑を科する。

2 前項の規定により法人でない団体を処罰する場合には、その代表者又は管理人が訴訟行為につきその団体を代表するほか、法人を被告人又は被疑者とする場合の刑事訴訟に関する法律の規定を準用する。

## 附 則

### （施行期日）

第一条 この法律は、公布の日から起算して六月を経過した日から施行する。

### （任命のために必要な行為）

第二条 第二十条第一項の規定による中央審査会の委員の任命又は第二十九条の規定による地方審査会の委員の任命のために必要な行為は、前条の規定にかかわらず、この法律の施行前においても、行うことができる。

### （最初に任命される公益委員の任命についての特例）

第三条 この法律の施行後最初に任命される中央審査会の公益委員の任命について、国会の閉会又は衆議院の解散のために両議院の同意を得る

ことができないときは、第二十条第二項及び第三項の規定の例による。

(最初に任命される委員の任期の特例)

第四条 この法律の施行後最初に任命される中央審査会の委員の任期は、第二十二條第一項本文の規定にかかわらず、内閣総理大臣の指定するところにより、労働者委員、使用者委員及び公益委員のうち各一人は一年、各一人は二年、各二人は三年とする。

2 この法律の施行後最初に任命される地方審査会の委員の任期は、第三十条において準用する第二十二條第一項本文の規定にかかわらず、労働大臣の指定するところにより、次の各号に掲げる場合の区分に応じ当該各号に掲げる期間とする。

- 一 当該地方審査会の労働者委員、使用者委員及び公益委員の定数が各四人の場合 各一人は一年、各一人は二年、各二人は三年
  - 二 当該地方審査会の労働者委員、使用者委員及び公益委員の定数が各六人の場合 各二人は一年、各二人は二年、各二人は三年
  - 三 当該地方審査会の労働者委員、使用者委員及び公益委員の定数が各八人の場合 各二人は一年、各三人は二年、各三人は三年
  - 四 当該地方審査会の労働者委員、使用者委員及び公益委員の定数が各十人の場合 各三人は一年、各三人は二年、各四人は三年
- (特別職の職員に関する法律の一部改正)

第五条 特別職の職員に関する法律(昭和二十四年法律第二百五十二号)の一部を次のように改正する。

第一条第十二号の二の次に次の一号を加える。

十二の二の二 中央雇用平等審査会の常勤の公益を代表する委員第一条第十九号の六の次に次の一号を加える。

十九の六の二 中央雇用平等審査会の非常勤の公益を代表する委員

別表第一官職名の欄中「労働保険審査会委員」を「労働保険審査会委員 中央雇用平等審査会の常勤の公益を代表する委員」に改める。

(労働省設置法の一部改正)

第六条 労働省設置法(昭和二十四年法律第百六十二号)の一部を次のように改正する。

第三条第二号の二の次に次の一号を加える。

二の三 雇用における性別を理由とする差別の是正及びこれに関する啓もう宣伝

第四条第三十号の次に次の一号を加える。

三十の二 男女雇用平等法(昭和五十九年法律第 号)の施行に関すること。

第五条第四十号の次に次の三号を加える。

四十の二 男女雇用平等法に基づいて、使用者等に対し、労働者の性別を理由とする差別を是正するため必要な事項を命ずること。

女の希望、女の怒り、  
ジャンジャン書こう！

四十の三 男女雇用平等法に基づいて、使用者、労働者その他の関係者に必要な事項を報告させ、又は出頭させること  
四十の四 雇用における性別を理由とする差別に関する苦情を処理すること。  
第九条第一項中「第三十一号」を「第三十号の二」に改める。

(社会保険労務士法の一部改正)

第七條 社会保険勞務士法（昭和四十三年法律第八十九号）の一部を次のように改正する。  
別表第一第二十号の十一の次に次の一号を加える。

二十の十二 男女雇用平等法（昭和五十九年法律第

号)

朝日新聞編集局 「声」担当 「論攷」担当	朝日新聞編集局 「聲」担当 「論攷」担当	東京10491 私書箱3000号	原稿用紙 5000字以内	住所・氏名・職業 年齢・TEL	顔写真必要
毎日新聞社 「編集者への手紙」係	毎日新聞社 「編集者への手紙」係	東京1000 千代田区 一ツ橋1の1	原稿用紙 11000字	〃	顔写真必要
毎日新聞社読者係 「読者の目」係	毎日新聞社読者係 「読者の目」係	〃	原稿用紙 4000字前後	〃	〃
読売新聞社 「私の主張・私の提案」係	読売新聞社 「私の主張・私の提案」係	東京100091 東京中央郵便局 私書箱3255号	原稿用紙 12000字前後	〃	顔写真必要
世説調査室「気流」係	世説調査室「気流」係	〃	原稿用紙 6000字	〃	〃
中日新聞東京本社 編集局「発言」係	中日新聞東京本社 編集局「発言」係	東京1008 東京都港区港南 2の3の13	原稿用紙 4000字以内	〃	〃
日本経済新聞東京本社編集局 婦人家庭部「オフィス論壇」係	日本経済新聞東京本社編集局 婦人家庭部「オフィス論壇」係	東京1000 東京都千代田区 大手町1の7の5	原稿用紙 6000字程度	〃	担当 鹿島
サンケイ新聞編集局編集委員室 「私の意見」欄	サンケイ新聞編集局編集委員室 「私の意見」欄	東京1000 東京都千代田区 大手町1の7の2	原稿用紙 5000〜5500字	〃	〃
「アピール」欄	「アピール」欄	〃	原稿用紙 8400字厳守	〃	〃
朝日新聞東京本社 「朝日ジャーナル」編集部 「読者から」	朝日新聞東京本社 「朝日ジャーナル」編集部 「読者から」	東京1004 東京都中央区築地 5の3の2	原稿用紙 12000字以内	〃	〃

注意

① 字数に注目。  
 (以内・厳守)は長く書くとカットされる。  
 (前後・程度)は50字上下に差があってもOK。  
 (無印)はその時の紙面の都合に応じるので、字数に合わせるのが無難。

## 〔拠点だより〕

### 雇用平等法、児童扶養手当に関して意見書を提出

●5月例会で、労基法改悪、雇用平等法の問題について話し合い、次のような内容の反対意見書を労働省あてに出すことを確認し、提出しました。

「企業の利益ばかりを配慮し、何の力にもならない骨ヌキ〓平等法〓。世界に悪名高い日本の長時間労働を是認し、ますます女性を窮地に追い込むこの法案の国会の上程には絶対反対です。本当に効力のある〓平等法〓の制定を望みます」

●5月17日、△札幌児童扶養手当改悪に反対する会▽から、札幌市議

ニュージールランドで暮らしてみたら：1年半暮らした田中よね子さんに聞く

ニュージーランドはオーストラリアの東にあり、南北二つの島からなる。日本の70%くらいの面積に300万人が住む。

13世紀にマオリ族が住みつき、19世紀、イギリス人がカウリの木と金を求めて来島すさまじい闘いに。現在マオリ族は人口の10%程度。税金は収入の30%程度だが、医療費等は無料、障害者と老人には週160ドル(25,600円)、未・離婚の母には130ドル(20,800円)が支給され、住宅や就職等も優先される。私生児出生率は世界一。障害者天国で、膝に赤ちゃんをのせた車いすのお母さん、一人で買物する障害者によく会う。

食料品は安くて新鮮、牧草に農薬をまくことは禁止されており、道路は美しく整備され、すごく生活しやすい。玉ねぎやアスパラガスなど大きな揃ったものは日本への輸出用。

### △あこら札幌▽

会での反対決議採択実現のために、陳情書に団体として名を連ねてほしいとの緊急の呼びかけがありました。児童扶養手当制度の改悪は、優生保護法、雇用平等法と並んで、女を婚姻制度・家制度の檻の中に閉じ込め自立した一人の人格として自ら生きることを阻もうとする、もろに女にかけられた攻撃です。翌18日、緊急に集まって討議した結果△あこら▽の活動基盤に深く関わるこの問題を座視すべきではない、ということになり、5月21日付で、△改悪に反対する会▽、△アジアの女たちの会▽等々と共に陳情書を提出しました。

### △あこら武蔵野▽

接客業の女性がいるのは、日本人用トルコだけ。

教育は5歳から予備クラスへ。6歳の誕生日から小学校(4年間)に。その後、インターミディア(2年)カレッジ(7年)ユニバーシティ(3-5年)へ。

小学校は1クラス20人まで。建物は平屋、教師はほとんど女性。校長と若い教師が対等な関係。英語が話せない子のために特別クラスも。入学の前にはパブリックナース(保健婦)の面接があり、子どもに絵を描かせたり、歯・目・こう丸の検査、片足跳びなどをさせ、親に家庭のしつけや育児方針について質問がある。先生は子どももの欠点は全く言わない。通知表はなく勉強はのんびり。9時-3時だけれど昼休みが長く、家に帰る子も。昼食はオレンジ1個とか、アイスクリームだけ、にんじんスティックのみなど、いろいろ。家庭の考えが尊

重される。学校に限らず、大人の子どもに対する接し方が柔らかく、子どもを叱っている人は一度見ただけ。

子ども向けテレビは2時半—5時半。大人用も正午—12時、国営2局だけ。お店は5時半でおしまい。旅行や遊びで。

私とハあごろさせほV増田真由美

それは偶然だった。佐世保へ来て3年目の春、新聞の佐世保版に、ハ佐世保あごろVの紹介がのっていた。「現在の女性（主婦）は、多角的な目で物事を見ることができると、ハ家Vという立場上、個々に分断され、一つの力にならない。それぞれの思いを論理的に構築していくハ場Vが必要ではないか」

結婚して1年目、家庭内の主婦の役割、夫婦間の根本的な考え方の相違、その他、心の中でモヤモヤとした気持ちを抱えながら、彼との平行線の会話にイラ立っていただけに、その記事に強い印象を受けた。それから2年後、初めてハあごろVに顔を出した時は、優生保護法改悪問題の真ただ中であつた。

私は当時2人目の子どもをおなかにかかえ、3か月もすれば臨月だった、4か月のころ中絶を考えた時期もあつたので、ハあごろVの意見交換には、深く考えさせられることばかりだった。2人目の子どものハ産む・産まないハ問題は、ハあごろVと関わりを持たなければ、薄い記憶でしか残らなかったと思う。意識もまた、産む側だけの女性の問題としてしか考えていなかったと思う。それ以後、月に二度の例

埃りがすくく少なく、拭き掃除は半年に一度しただけ。南半球では時間がウーンとゆったり流れる……。

さて、日本は、トマホーク、児童扶養手当、禁等法等々、絶対見のがせない問題が、よくもあアこれだけ！ ウーン……。

ハあごろ・させほV

会に顔を出す度に、専業主婦の抱えている問題、子殺しの問題と、あらゆる立場で意見をかわし、時代の流れの中で起きた女性に関わる事件の真実を一つ一つ追求して、誤った形で埋もれてきた事実を光をあてるなかで、内在する自己の性差別をみつめ、変革の方法を模索した。

ハあごろVに関わりを持つ前は、私の周りの女性たちはほとんど「仕方がない」ということばで、それ以上の解決策を積極的に考えずごまかしていたし、私もまた同様だったが、ハあごろVを通して、考え方にプラス・アルファが加わった。目指す方向が同じで、そのハ場Vで発言でき、その発言を理解してもらい、新たな問題提起を受け、視界が急に開けたような思いだった。

私は、今後の課題としては、「主婦のアルコール中毒症」「主婦症候群にみるハ心の空洞ハ原因や背景」などを、ハあごろVのみんなと考えてみたいと思っている。

ハあごろVの目指す、「ゆるやかで静かで、それでいて少しずつ自他の変革をあせらず実践する」ということを心に銘じて。

大至急！ 全国の女のミニコミを  
送ってください

ハ日本女性会議84なこやで女のミニコミ展を開きます。最新号と、できればバックナンバーも、7月19日までに左記に送ってください。

〒470-0101愛知県愛知郡東郷町白鳥4-5-11押草団地113305石川方 加藤登紀子



# 声

「キーセンパーティーは

韓国の風俗」(!)

福岡放送制作の「11PM」

去る5月31日(木)の「11PM」(藤本義一担当)をご覧になったでしょうか。キーセンパーティーを露骨に賛美し、キーセン観光をおおる内容を含んだこの番組は、「オリンピックに燃える韓国ノ 風俗、芸能、ナイトライフ」と題して、FBS福岡放送が制作し全国に放映したものです。

地元福岡では、△あごろ九州Vの方々からの支持も受けながら抗議行動を始めました。6月8日には、FBSの上田報道制作局長、南條部長と二時間にわたって面会し、次のような要請を行なうとともに謝罪を求めました。

一、6月30日までに「11PM」において謝罪すること。その際、具体的に、制作意図、私たちの抗議の内容、それを受けて制作者として何が問題であったと考えるのかを明らかにされたい。

二、FBSとして、その反省に基づいて、も

う一度、キーセン観光(買春観光)をテーマとした番組を制作すること。その際、買春観光基地化している福岡の問題を十分掘り下げることに、今年中に放映すること。

三、二の制作過程と合わせて、社内研修を行なうこと。自ら調査し、学び、全社的に責任をとること。

四、今日の話し合いをふまえて、私たちの要請に対し、6月20日までに文書で具体的に回答されたい。

しかし、「キーセンパーティーは韓国の風俗」、それを紹介して何が悪いという態度。日本の経済侵略と女の「性の商品化」というキーセン観光の背景を視野に入らず、パーティーの場面だけ描く意味が、彼らには本当にわからないのだろうか。また、「キーセンとの恋が実れば——」と買春春をにおわすナレーションに関しても「あんなのは常套句」と居直り、私たちの抗議を「一部の声」として黙殺しようとしています。

各地の△あごろVの皆さん、地元「11PM」放映局に対して、抗議行動・電話・ハガキ等をお願いします。

ESCAPにおけるフィリピン女性の提案

名古屋の中心「栄」に位置する

プリンセス ガーデン ホテル

落ち着いた雰囲気とゆとりある空間を備え、お客様一人一人をあたたくお迎えします。

心なごむひとときをお過ごし下さい。

<'84日本女性会議なごや>ご出席の方は10%引き

〒460 名古屋市中区栄3-13-31 TEL (052) 262-4111

は、「買売される性」の氾濫した今の日本で、  
途方にくれている私たちに、それではいけない  
と気づかせてくれました。決してあきら  
めないで小さな力を寄せ合い、反省を迫って

## 集会から、

### 有効な運動を求めて

6・7 禁等法——政党・女性議員に聞く会  
「奇怪禁等法」の舞台が国会に移ったが、六  
月七日ハ効力ある平等法を、女も男も連帯委  
員会Vは東京・渋谷勤労福祉会館で「均等法  
について政党・女性議員に聞く会」を開いた。

出席したのは参議院社労委の糸久八重子さ  
ん（社会党）、中山千夏さん（無所属）、衆議  
院社労委の菅直人さん（社民連）の三人。連  
帯委員会の奔走にもかかわらず、多忙その他  
思惑もあるらしく、残念ながら他党からの出  
席者を迎えることはできなかった。

国会審議間近との情報が飛ぶなか、駆けつ  
けた百人を超す参加者を前に中山千夏さん  
は、「いわゆる一般的な職場とは違って特殊  
な世界ではあるが、私は十歳の時から二十  
五年間働き続けてきた。今回の均等法は立法  
の仕方自体にも納得できないところがある。

いきましょう。（福岡の愛読者・松崎百合子）

（抗議及び要請文の全文をご覧になりたい  
方は事務局まで）

私は無所属で社労委のメンバーでもないので  
大きな力もないし、情報も風通しが悪くて走  
り回らなければ得られないが、同じ働く女性  
の一人としても、これからもあなただ方の運動  
にできるだけ協力をしていきたい」と語った。

糸久八重子さんは、社労委にかかっている  
労働省関係法案との関係で、禁等法が今国会  
で成立する可能性が大きいことを説明したあ  
と、「禁等法」の問題点として、①職業と家  
庭生活の調和をはかる、といった家庭責任を  
担う働く女性を対象にした勤労婦人福祉法の  
改正という形をとっており、単独立法でない  
こと、②労基法改「正」とセットになってい  
ること、③募集—退職までの全ステージに対  
象とはしていないこと、などを指摘した。そ  
して今後の取り組みとして、公聴会、連合審  
査などを要求して重要法案扱いをさせていく  
こと、社会党としては全野党共闘で対案を出  
していく作業を進めていることなどを報告し

た。

続いて菅直人さんが、とにかくみんなの意  
見を少しでも多く聞きたくて来た、と前置き  
しながら、現在の国会の力関係では政府案が  
そのまま通る可能性も強いので、絶対に譲れ  
ない点はどこか、卒直な意見が聞きたい、と  
述べた。そして、法案の見直し規定に触れ、  
これまでにこの規定をもっている法律で機能  
している例はほとんどない、見直し規定を置  
くような法律をつくること自体おかしいので  
はないかと、見直し規定の非現実性を指摘し  
た。

また、菅さんのこれまでの市民運動の経験  
を踏まえて、今後の私たちの運動にアドバイ  
スを、という会場からの質問に答えて、各議  
員宛の葉書作戦等も有効ではあるが、同時に  
全女性議員、全国会議員に直接会って、その  
人の意見を聞きながら説得しては、どう  
か、硬軟とりまぜた柔軟な活動を、などを提  
案した。

このあと会場発言に移り、弁護士の中島通  
子さんからは「禁等法は女性の労働権を確保  
するものではなく、あくまでもそれを福祉の  
中で捉えようとするもので、差別撤廃条約の  
精神に反するものである、ということをも

きちんと認識したい」という発言があった。会場からは次々に活動報告を含めた意見、要望が出されたが、なかなか討論までにはいたらなかった。時間が足りなかったこと、議員側の出席者が少なかったこと（中山千夏さんは時間の都合で途中退席）、などにもよるのかもしれないが、議員は「学習」するのが精一杯という印象も受けた。

私たちはハ女も男も、連帯委員会Vの意味をきちんととらえながら、自分自身の生活から出た言葉で国会内とのパイプをつなぐ作業をセッセと続けなければ、と改めて強く思った。

（嶋田ゆかり）

## 巻頭詩に寄せて

「花の季節」堀場清子さんの詩を『いしゅたる』から転載させていただきました。

ことしもめぐり来る八月、暑い、あついで、季節。つらいことほど忘れてしまいたいけれど、せめて八月には思い出さなくては。

この『いしゅたる』No5号は、「わたしたちは核に反対する」特集を組んでいます。堀場さんはその中でショッキングな事実を紹介

しておられます。渡辺順三（一八九四—一九七二）の原爆詩「君らは語る」にまつわる話です。

焼けのこりの

かたすみの街も

家々が

なかばくずれて

ひびわれたまま。

鉄骨がはみ出た建物の

かたわらに

肩よせてわれら

何を語れる。

くずれかけた

石の階段のぼりつつ

はるかに見るは

焼けただれた街。

一九四五年八月

あの日の思い出を

君らは語る

顔くもらせて。

悲惨とも

凄惨とも口に言いがたき

その日のことを

君ら語りつく。

かなしみが

いきどおりとなり

若き君らが

語るを聞けば

わが胸も燃ゆ。

原子弾に焼かれし街をつらぬきて

水あおあおと

幅ひろき川。

この、静かな詩が理由で、明治大学の学生雑誌『駿台論潮』第二巻第五号が発禁になったのです。そのゲラを朱で彩った Suppressed（発禁）の手書き。コピーを禁じられているので、実物は『いしゅたる』を見ていただくほかないのですが、一九四七年十月下旬の事実は、三十七年の歳月を経て、重く迫ります。

こんな穏やかな詩さえも発禁の理由とされた占領下のニッポン。CCD（占領軍民間検閲支隊）CIE（民間情報教育局）など、堀

場さんの解説を追いながら、私信が断わりもなく開封され、ベタリとCCDの印が押されていた日々のことを思い出しました。

「占領軍が民情を調べているそうだ」

「仕方がないねえ」

虚脱したあの頃の人びとの顔。

あんな大切なことを、長い間、忘れていたわし。

「表現の自由などということは、繰り返し繰り返し主張していかないと、風化してしまうので」と、堀場さんはやさしい声で話してくださいました。

(千)

『いしゆたる』は一部五百円、申込先は〒249 逗子市小坪7-11-39 千二百円

【事務局から】

バックナンバー、

お譲り下さい!!

アメリカの国会図書館などから、『あこら』をぜひ揃えたいとの要望がありました。残念ながら、事務局にもバックナンバーが揃っていません。資料としての価値を高めるためにもぜひ全号を揃えて渡したいと考えています。余分にお持ちの方、手離しても良いと思

われる方、ご連絡お待ちしています。

1、女が働くこと

6/7、運動をすすめるよう

8、子殺しを考える

9、働く女と主婦の接点

10、女と法

11、女と教育

15、職場の中の女性差別

19、女にとって子どもとは

月刊 76/77・84・85・86号

もちろん、代金・送料はお支払い致します。

新聞切り抜きに協力して下さい方、

ご連絡下さい

△あこらVでは創立時から、女の情報収集活動のひとつとして新聞切り抜きを行なっています。

読売新聞の切り抜きをして下さる方、ぜひご連絡下さい。図書券ですが、薄謝を差し上げます。

【連絡先】

〒160 東京都新宿区新宿1-9-6

TEL 03-3541-3941

△あこらV事務局

一家に一冊

84年版『女性問題図書総目録』

「くらし」、「家・家族」、「性・からだ」、「婦人運動」をはじめ、女性問題の全分野を網羅。運動家のためだけでなく、読書の手がかりにもなります。個人の注文はもちろん、各拠点、その他グループでまとめてご注文下さい。

お申し込みはハガキか電話で事務局まで。

(東販編集、1冊300円)

【編集後記】

政府が最も恐れていた野党対案上程。審議未了に持ち込み、その間にできるかぎり世論を喚起し、秋の国会で大論争を、と期待していますが、民主党が自民党に「審議促進」を公約、情況は全く予断を許しません。国会の傍聴席を女で埋めて声援しましょう。国会周辺を長蛇の列で囲みましょう。

\*

ハプニング続出で特集が遅れたことをおわびします。できるかぎり早くお届けします。月刊8月号(90号)はお休みします。今国会の攻防は会期延長がなければ8月8日でエント。死力を尽くして禁等法を阻止します。

〈女のつどい・女の講座〉

日	時	テ	マ	会場・連絡先
7月1日(土)	14:00	「平和への女性の参画」カター・愛子 問い合せ0334043120	国立婦人教育会館0493626771	1
14日(土)	14:00	「核戦争3分前、被害者の立場からの発言」前田幸子	新宿第一生命ビル0333445597	1
14日(土)	17:17	「あなたにとって更年期とは」高根木子学術グループ	真生会館(信濃町駅前)	1
15日(日)	00:00	市民の学校「性教育を疑う」錦木みち子 ③は9月予定「更年期の性」	名古屋市内を予定	1
16日(月)	06:16	国際婦人年の歩みについて「深尾凱子 新宿労政事務所20261225	高槻市市民会館0726671061	1
17日(火)	08:21	「教科書検定の裏面を内部から告発する」ほか 下山繁雄	中野サンプラザ8F	1
18日(水)	08:21	「賢亮春と亮春防止法」井田恵子「アジアの女たちの会」	渋谷勤労福祉会館0355087070	1
19日(木)	06:45	「今、働く女性が考えることは」俵朋子 新宿労政事務所2026215	中野サンプラザ8F	1
20日(金)	10:00	第7回地域教育研究会「ドイツの教育について」カローラ・パウ	高橋学習センター10526224920	1
21日(土)	13:13	「均等法」名古屋学習会	名古屋市内を予定	1
22日(日)	16:16	「84日本女性会議なごや」名古屋婦人問題担当室0529611111	名古屋市民会館	1
26日(木)	00:30	「あこら旭川例会」ビデオ鑑賞会	神奈川婦人総合センター104662721	1
27日(金)	00:30	「あこら東海例会」「主婦と働くことについて」0529355318山田	名古屋市内を予定	1
28日(土)	12:12	「あこら佐世保例会」「母子寮の実態と利用法」林千代・「離婚に必要な法律手続」金佐典子	佐世保市立図書館	1
3日(金)	05:00	「主婦は病んでいる」波田あい子・細井洋子(婦人問題懇話会例会)	日本社会事業大学	1
8月3日(金)	05:00	「あこら九州例会」	千代田区立産業会館	1
3日(金)	05:00	「あこら武蔵野例会」「雇用議会均等法」	福岡市立婦人会館	1
5日(日)	05:00	「あこら佐世保例会」女性学講座9回富山交流会、連絡先07649913385	富山県民会館ホールはか	1
8日(水)	00:30	「現代社会の女性と法律」人見康子(女性学講座公開講演会)	国立婦人教育会館0493626771	1
10日(金)	12:16	「あこら山口例会」年間テーマ「管理教育の問題」	国立婦人教育会館0493626771	1
11日(土)	00:30	「あこら佐世保例会」	福岡市立図書館	1
13日(月)	00:30	「あこら九州例会」	佐世保市立図書館	1
18日(土)	00:30	「あこら札幌例会」	福岡市立婦人会館	1
23日(木)	00:30	「あこら旭川例会」	小坂宅01668225598	1
24日(金)	00:30	「あこら東海例会」	藤井宅0633876574	1
25日(土)	00:30	「あこら佐世保例会」	名古屋市内を予定	1
9月25日(土)	13:00	「離婚に必要な法律手続」金佐典子「各国の面接交渉権」庄司洋子	佐世保市立図書館	1
2日(土)	00:00	「あこら武蔵野例会」	福岡市立婦人会館	1
3日(日)	00:00	「あこら山口例会」	福岡市立婦人会館	1
7日(金)	04:00	「あこら佐世保例会」	福岡市立婦人会館	1
8日(土)	00:00	「あこら九州例会」	福岡市立婦人会館	1
14日(土)	00:00	「あこら佐世保例会」	福岡市立婦人会館	1
17日(日)	00:00	「あこら佐世保例会」	福岡市立婦人会館	1
18日(月)	00:00	「あこら佐世保例会」	福岡市立婦人会館	1
20日(水)	00:00	「あこら佐世保例会」	福岡市立婦人会館	1
21日(木)	00:00	「あこら佐世保例会」	福岡市立婦人会館	1
22日(金)	00:00	「あこら佐世保例会」	福岡市立婦人会館	1
23日(土)	00:00	「あこら佐世保例会」	福岡市立婦人会館	1
24日(日)	00:00	「あこら佐世保例会」	福岡市立婦人会館	1
25日(月)	00:00	「あこら佐世保例会」	福岡市立婦人会館	1
26日(火)	00:00	「あこら佐世保例会」	福岡市立婦人会館	1
27日(水)	00:00	「あこら佐世保例会」	福岡市立婦人会館	1
28日(木)	00:00	「あこら佐世保例会」	福岡市立婦人会館	1
29日(金)	00:00	「あこら佐世保例会」	福岡市立婦人会館	1
30日(土)	00:00	「あこら佐世保例会」	福岡市立婦人会館	1
31日(日)	00:00	「あこら佐世保例会」	福岡市立婦人会館	1

## ——バックナンバーもご利用ください——

### 女の状況を的確に伝える——『あごら』

- 74号 ●あなたにとって家事ってなあに? ●結婚改姓を考える ●減った妊娠中絶 ¥200
- 75号 ●女と政治/参院選終わる ●女の年金があぶない! ●怒れるパートの訴え ¥200
- 76/77号 ●女「障害者」そして全陣連分科会の討論から ●学校給食いま何が問題か(品切れ)
- 78号 ●からだを考える/子どもと女のからだ育て ●母子保健施策強化の方向 ¥200
- 79号 ●先行き厳しい平等法審議 ●10年以上勤続者21%に ●日経連と女の攻防 ¥250
- 80号 ●いよいよ大詰め平等法 ●行革で婦人行政管理体制 ●働く女性の選択 ¥300
- 81号 [特集] 子どもがあぶない——あぶないのは子どもたちだけ ¥1,400
- ・いのちを守る 半田たつ子
  - ・登校拒否——彼らが問いかけてくるもの 柴田頼子
  - ・地域で学ぶ主婦たちに思う 野々村恵子
  - ・私のおへソの言うことにや——今を生きているいのちの話 田中美津
  - ・AGORAZEIN——なぜいま「子どもがあぶない」なのか
- 資料=雇用平等法に関する要望書、国民年金・厚生年金改正案要綱
- 82号 ●女から女たちから一女へ ●平等法中間報告 ●ESCAPに買春問題を ¥350
- 83号 ●85年へ向けて私たちはいま ●私たちのESCAPを ●国連NGO報告会 ¥350
- 84号 ●金明観=人間の自由と戸籍 ●保障と平等なしの公益試案 ●児童扶養手当 ¥350
- 85号 ●平等法上程を急ぐ労働省 ●ESCAP終わる ●パートの壁90万円に ¥350
- 86号 ●“奇怪禁等法”にわかに浮上 ●ESCAP報告 ●転勤を闘った夫婦 ¥350
- 87号 ●“禁等法”原文(勤福法・労基法対照つき) ●母子家庭が生きているということ ¥350
- 88号 ●野党提案男女雇用平等法案 ●“禁等法”国会傍聴記 ●風俗営業取締法 ¥350
- 89号 [特集] 平条・均等・保護——今こそ“平等”の本質を問おう (近刊 ¥1,500)
- ・結果の平等と機会の均等 伊東すみ子
  - ・労働市場の差別的構造——資本主義経済下の機会均等法 久場嬉子
  - ・労基法成立史に見る保護と平等 金谷千恵子
  - ・解説=福祉法としての均等法
  - ・討論——平等ということ、保護ということ 仁木ふみ子、三井マリ子ほか
  - ・報告=各地の“私たちの平等法”をつくる運動
  - ・アンケート=国会議員は“均等法”をこうとらえている
  - ・資料=平等法に関する日弁連の意見書、“禁等法”案全文その他

## 英語が好きになる教室

世界のフェミニストと  
語ろう!!

### ◆月曜クラス(入門)

毎週月曜日夜6時15分～7時30分

### ◆水曜クラス(初級)

第1・第3水曜日10時30分～12時、  
第2・第4木曜日午後3時30分～5時

(9月12日に秋からの進め方を話し合います)

◆月謝 各クラスとも4千円(非会員は8千円)

◆会場 「あごら読書室」(地下鉄丸の内線「新宿御苑前」下車1分)

03 354 9014

◆講師は全員、英語を母国語とする在日フェミニスト。アメリカの雑誌をテキストに、女の問題をディスカッションしたり、たまには講師を交えて飲みに行ったり、楽しいクラスです。どちらのクラスとも、いつからでも参加できます。見学自由ですから、一度クラスに参加してみてください。中・高生も歓迎。